

Ⅱ. 資料編



- ・ 第 11 回市民意識調査（平成26年9月実施）から（抜粋）
- ・ 入間市関連交通関係データ
- ・ 入間市シティセールス戦略会議要綱
- ・ 入間市シティセールス戦略会議検討経過（開催概要）
- ・ 入間市シティセールス戦略会議委員名簿

第11回市民意識調査（平成26年9月実施）から（抜粋）

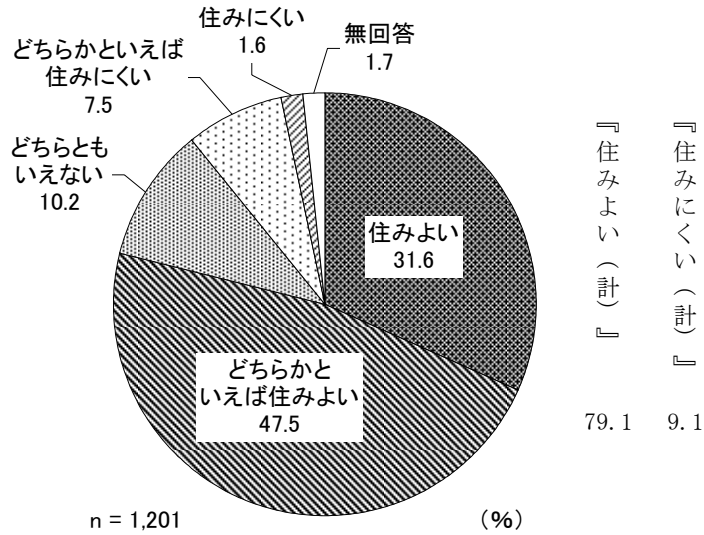
1. くらしやイメージ、地域活動などについて

(1) 住みよさ

◇「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合わせた『住みよい（計）』がほぼ8割

問1 あなたは、今住んでいる入間市を住みよい所であると思いますか。それとも住みにくい所であると思いますか。次の中から1つ選んでください。

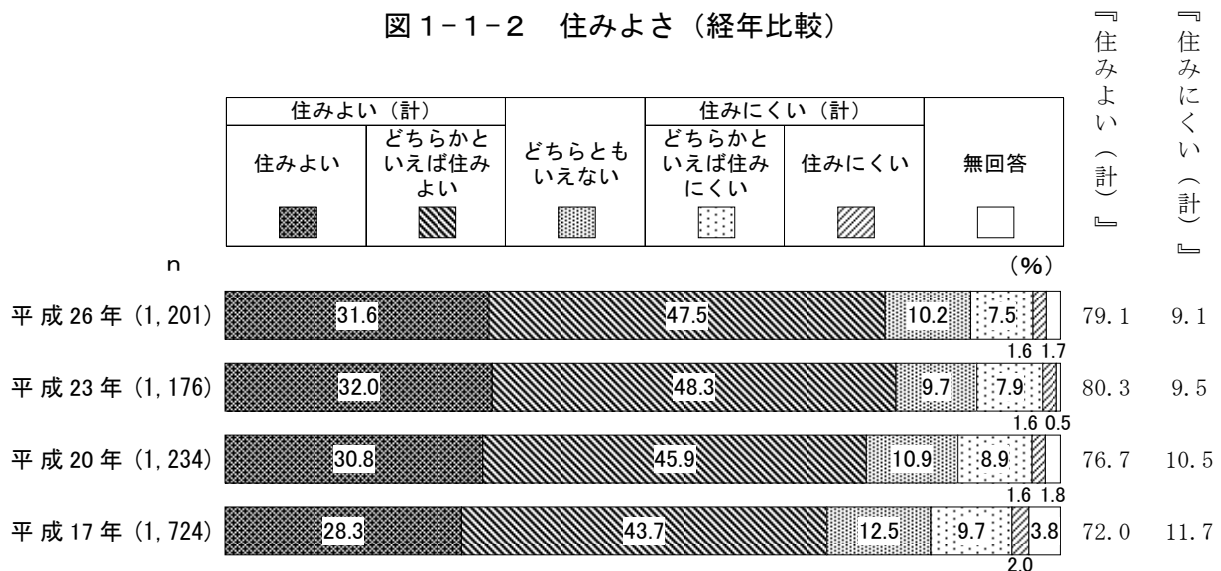
図1-1-1



住みよさについて聞いたところ、「どちらかといえば住みよい」(47.5%)が5割近くで最も高く、これに「住みよい」(31.6%)を合わせた『住みよい(計)』(79.1%)はほぼ8割となっている。一方、「住みにくい」(1.6%)と「どちらかといえば住みにくい」(7.5%)を合わせた『住みにくい(計)』(9.1%)は1割未満となっている。(図1-1-1)

過年度調査と比較すると、平成23年調査とほぼ同様の傾向となっている。(図1-1-2)

図1-1-2 住みよさ（経年比較）



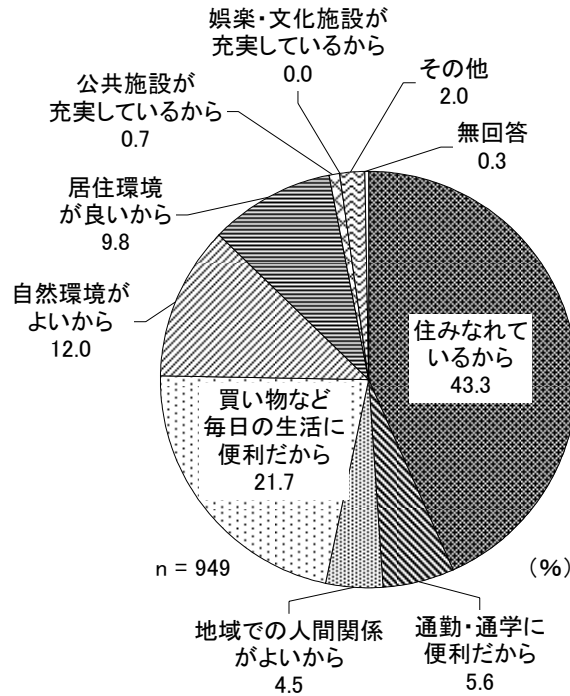
(2) 住みよい理由

◇「住みなれているから」が4割を超える

(問1で、「住みよい」「どちらかといえば住みよい」と答えた方に)

問1-1 住みよいと思われる理由を1つ選んでください。

図1-2-1



住みよさで「住みよい」「どちらかといえば住みよい」と答えた人(949人)に、住みよい理由について聞いたところ、「住みなれているから」(43.3%)が4割を超え最も高く、次いで「買い物など毎日の生活に便利だから」(21.7%)、「自然環境がよいから」(12.0%)、「居住環境が良いから」(9.8%)などの順となっている。(図1-2-1)

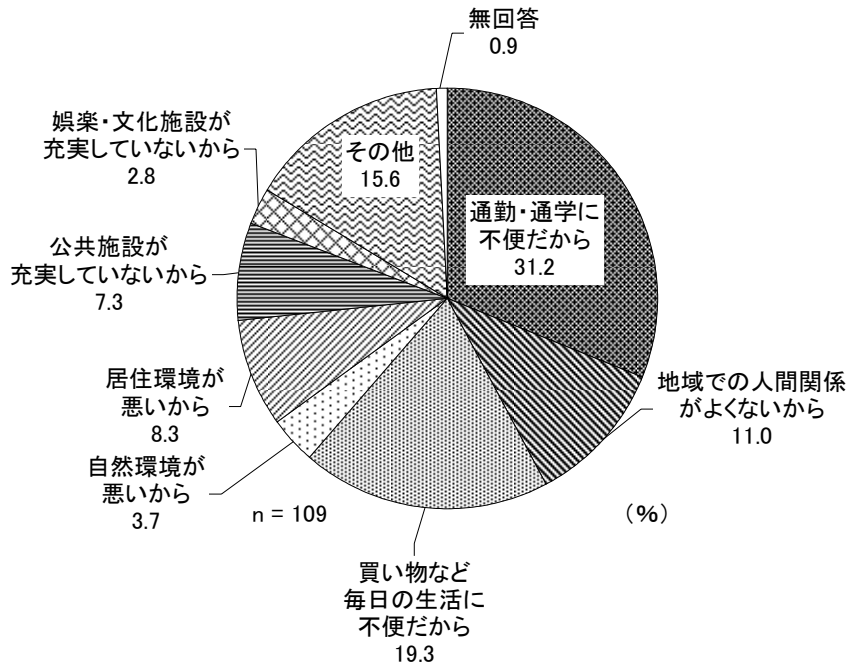
(3) 住みにくい理由

◇「通勤・通学に不便だから」が3割を超える

(問1で、「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」と答えた方に)

問1-2 住みにくいと思われる理由を1つ選んでください。

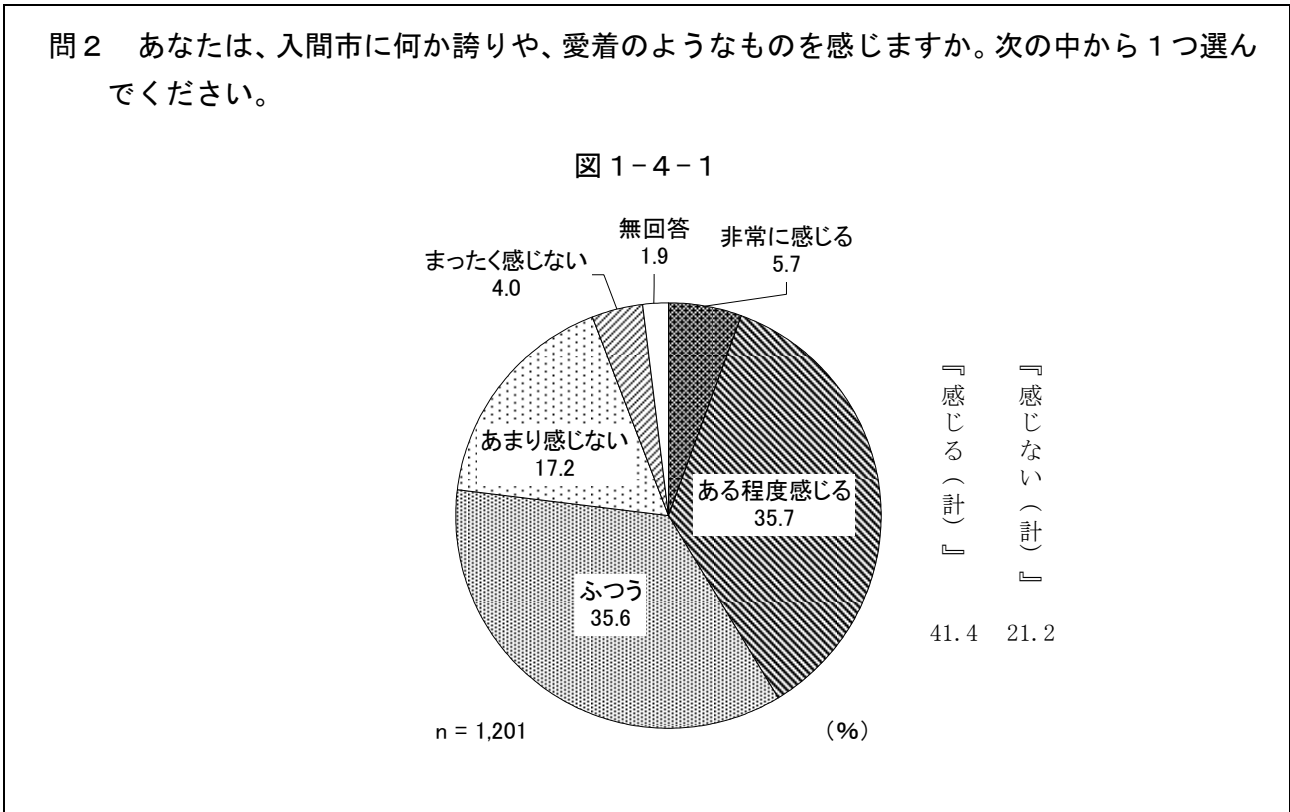
図1-3-1



住みよさで「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」と答えた人(109人)に、住みにくい理由について聞いたところ、「通勤・通学に不便だから」(31.2%)が3割を超え最も高く、次いで「買い物など毎日の生活に不便だから」(19.3%)、「地域での人間関係がよくないから」(11.0%)、「居住環境が悪いから」(8.3%)などの順となっている。(図1-3-1)

(4) 誇りや愛着

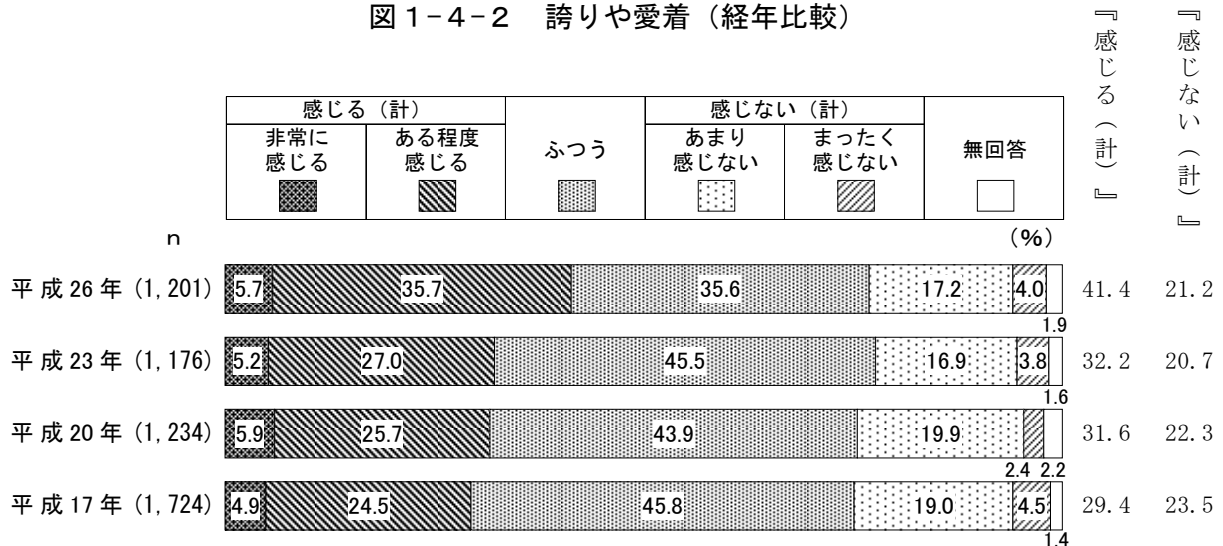
◇「非常に感じる」と「ある程度感じる」を合わせた『感じる(計)』が4割を超える



誇りや愛着について聞いたところ、「ある程度感じる」(35.7%)が3割半ばで最も高く、これに「非常に感じる」(5.7%)を合わせた『感じる(計)』(41.4%)は4割を超えている。一方、「まったく感じない」(4.0%)と「あまり感じない」(17.2%)を合わせた『感じない(計)』(21.2%)は2割を超えている。(図1-4-1)

過年度調査と比較すると、『感じる(計)』は平成17年以降増加傾向にあり、平成23年調査より9.2ポイント増加している。(図1-4-2)

図1-4-2 誇りや愛着(経年比較)

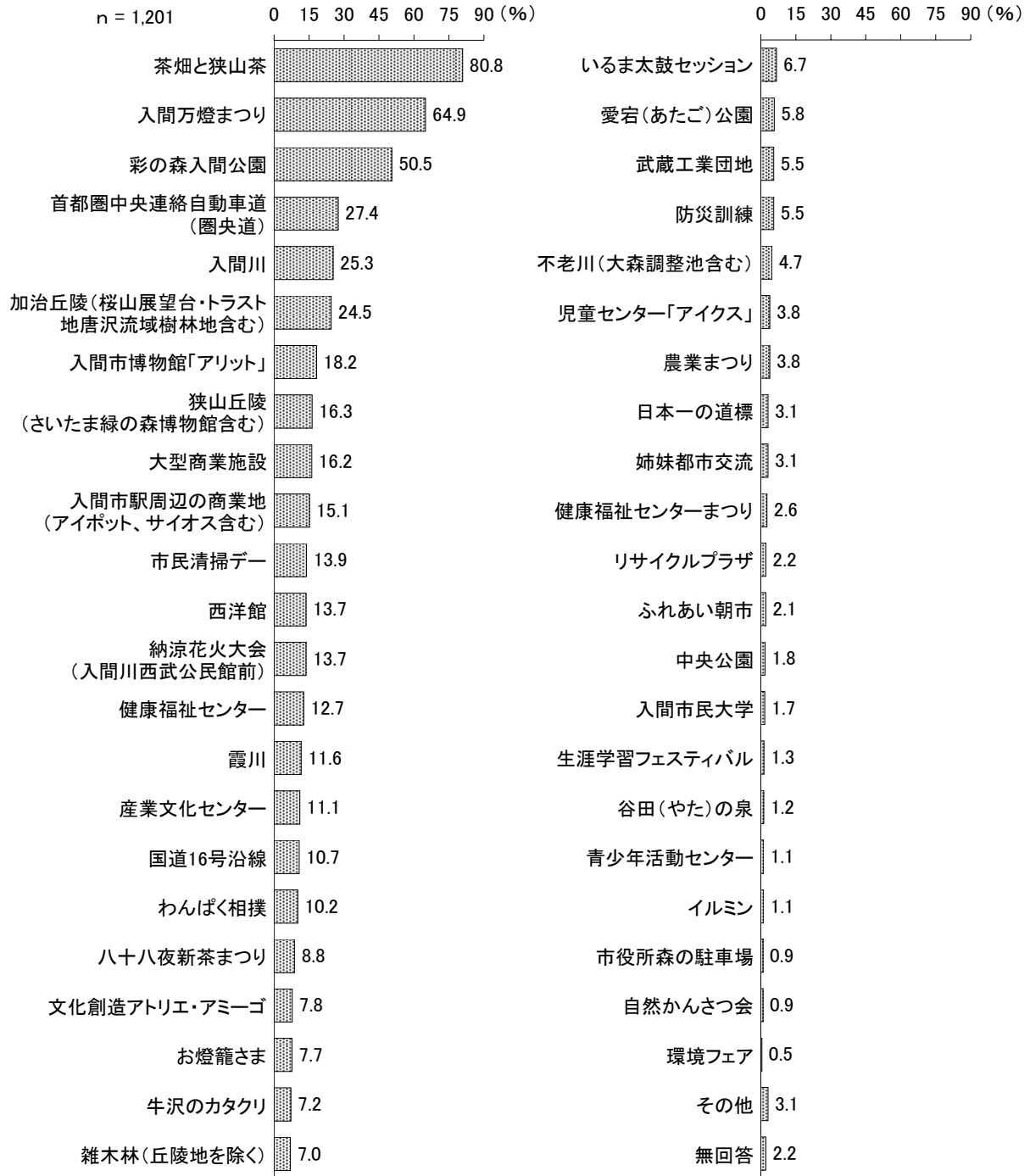


(5) 入間市の魅力

◇「茶畑と狭山茶」がほぼ8割

問3 あなたが入間市の環境や景観、施設、行事等の中で入間らしい魅力や個性を感じるものは何ですか。次の1~45の項目の中から7つまで選んでください。

図1-5-1



入間市の魅力について聞いたところ、「茶畑と狭山茶」(80.8%)がほぼ8割で最も高く、次いで「入間万燈まつり」(64.9%)、「彩の森入間公園」(50.5%)、「首都圏中央連絡自動車道(圏央道)」(27.4%)などの順となっている。(図1-5-1)

(6) 最も魅力や個性を感じるもの

◇「茶畑と狭山茶」が4割近く

問3-1 問3で選んだ項目の中で、最も魅力や個性を感じるものは何ですか。該当する番号を【記入欄】に1つ選んで記入してください。

図1-6-1



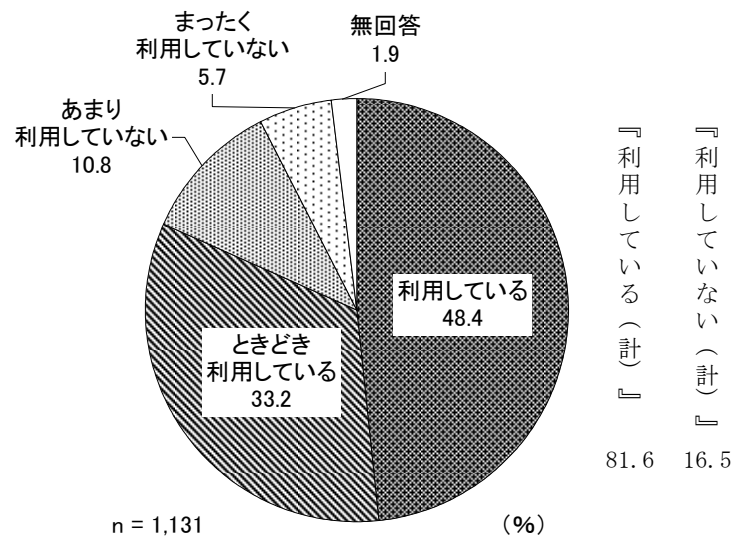
最も魅力や個性を感じるものについて聞いたところ、「茶畑と狭山茶」(36.6%)が4割近くで最も高く、次いで「入間万燈まつり」(16.2%)、「彩の森入間公園」(9.6%)、「首都圏中央連絡自動車道(圏央道)」(4.9%)などの順となっている。(図1-6-1)

(7) 最も魅力や個性を感じるものの活用状況

◇「利用している」と「ときどき利用している」を合わせた『利用している(計)』が8割を超える

問3-2 問3-1で選んだ項目を、あなたは利用(活用)していますか。次の中から1つ選んでください。

図1-7-1



最も魅力や個性を感じるものの活用状況について聞いたところ、「利用している」(48.4%)が5割近くで最も高く、これに「ときどき利用している」(33.2%)を合わせた『利用している(計)』(81.6%)は8割を超えている。一方、「まったく利用していない」(5.7%)と「あまり利用していない」(10.8%)を合わせた『利用していない(計)』(16.5%)は2割近くとなっている。

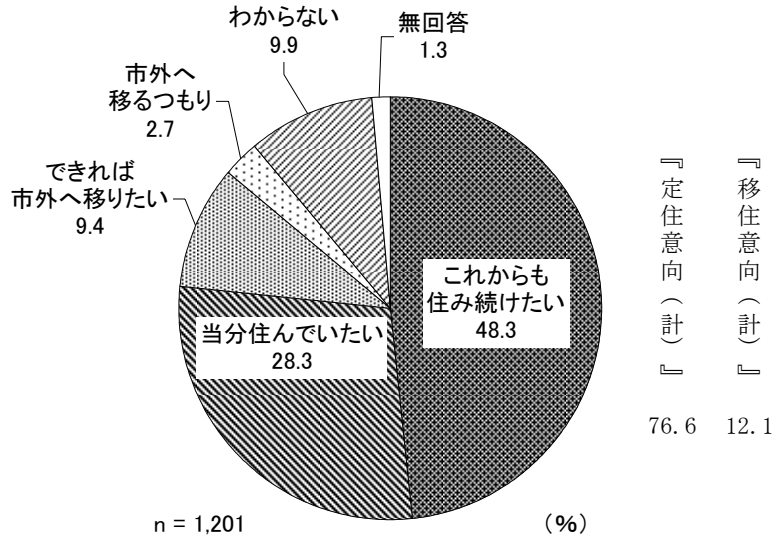
(図1-7-1)

(8) 定住意向

◇「これからも住み続けたい」と「当分住んでいたい」を合わせた『定住意向(計)』が8割近く

問4 あなたは、これからもずっと入間市に住んでいたいと思いますか。それとも市外に移りたいと思いますか。次の中から1つ選んでください。

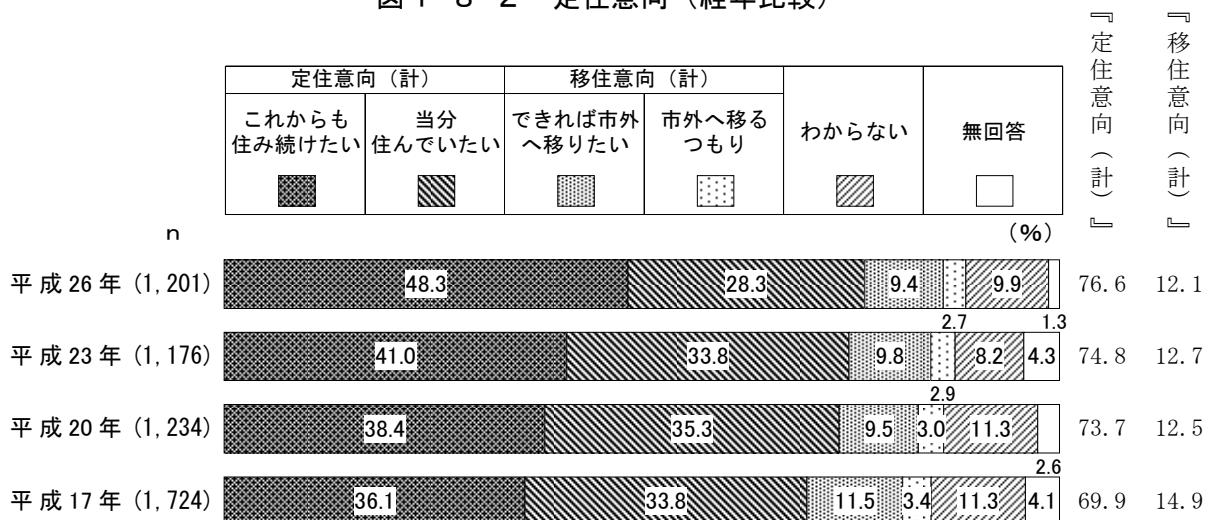
図1-8-1



定住意向について聞いたところ、「これからも住み続けたい」(48.3%)が5割近くで最も高く、これに「当分住んでいたい」(28.3%)を合わせた『定住意向(計)』(76.6%)は8割近くとなっている。一方、「市外へ移るつもり」(2.7%)と「できれば市外へ移りたい」(9.4%)を合わせた『移住意向(計)』(12.1%)は1割を超えている。(図1-8-1)

過年度調査と比較すると、『定住意向(計)』は平成17年以降増加傾向にあり、「これからも住み続けたい」は平成23年調査より7.3ポイント増加している。(図1-8-2)

図1-8-2 定住意向(経年比較)



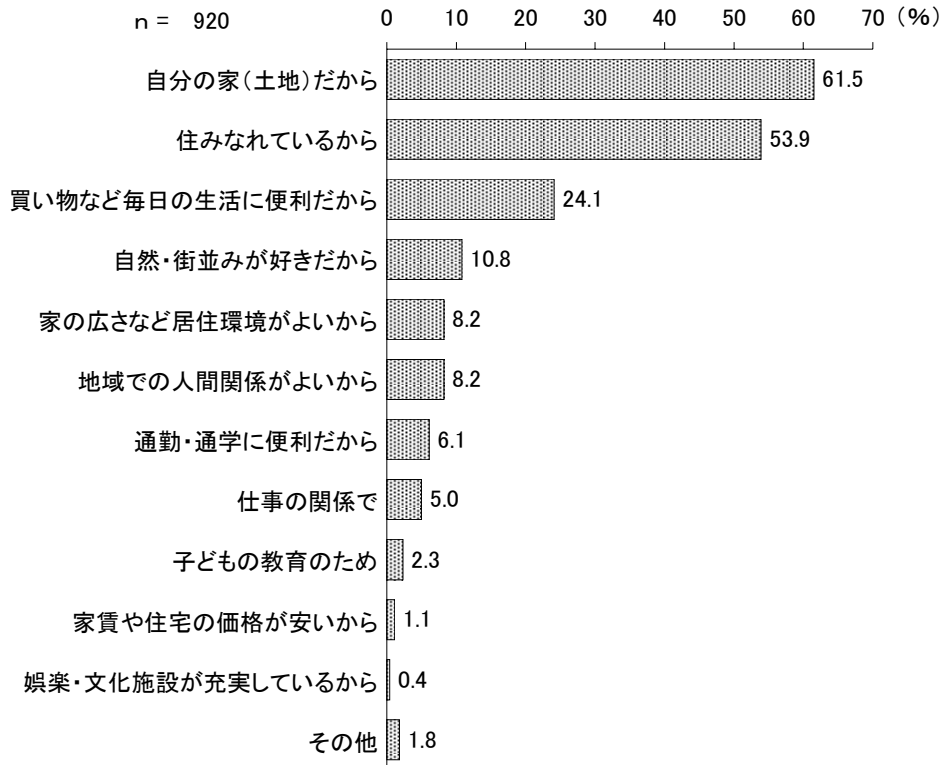
(9) 住み続ける理由

◇「自分の家(土地)だから」が6割を超える

(問4で、「これからも住み続けたい」「当分住んでいたい」と答えた方に)

問4-1 住み続ける理由を2つまで選んでください。

図1-9-1



定住意向で「これからも住み続けたい」「当分住んでいたい」と答えた人(920人)に、住み続ける理由について聞いたところ、「自分の家(土地)だから」(61.5%)が6割を超え最も高く、次いで「住みなれているから」(53.9%)、「買い物など毎日の生活に便利だから」(24.1%)、「自然・街並みが好きだから」(10.8%)などの順となっている。(図1-9-1)

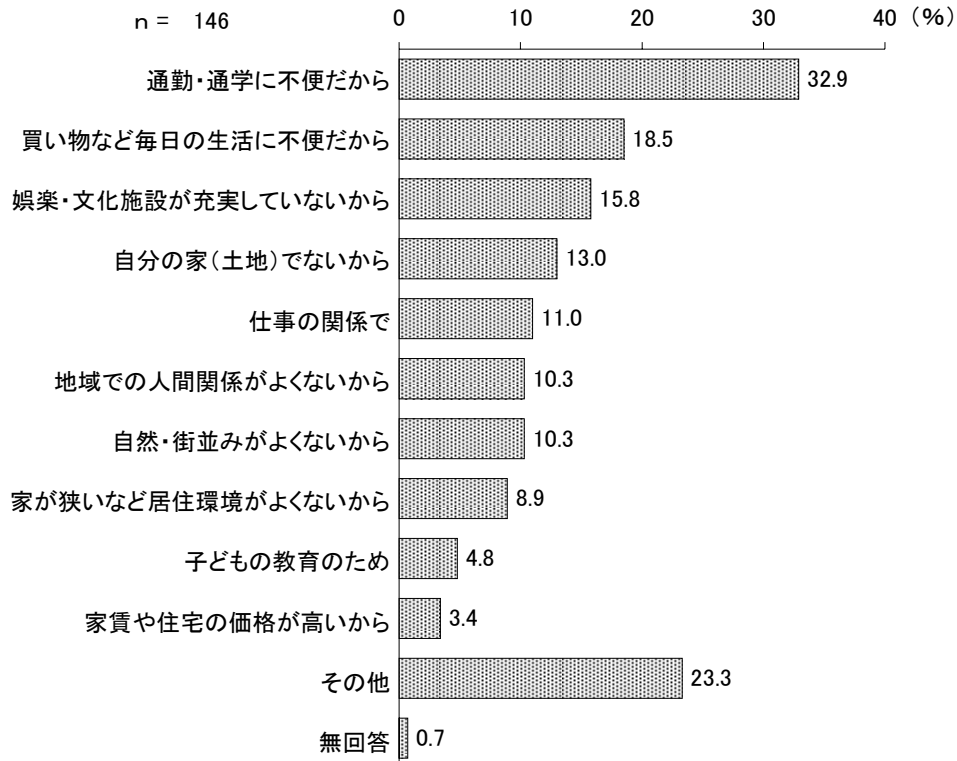
(10) 市外へ移りたい理由

◇「通勤・通学に不便だから」が3割を超える

(問4で、「市外へ移るつもり」「できれば市外へ移りたい」と答えた方に)

問4-2 市外へ移りたいと思われる理由を2つまで選んでください。

図1-10-1



定住意向で「市外へ移るつもり」「できれば市外へ移りたい」と答えた人(146人)に、市外へ移りたい理由について聞いたところ、「通勤・通学に不便だから」(32.9%)が3割を超え最も高く、次いで「買い物など毎日の生活に不便だから」(18.5%)、「娯楽・文化施設が充実していないから」(15.8%)、「自分の家(土地)でないから」(13.0%)などの順となっている。(図1-10-1)

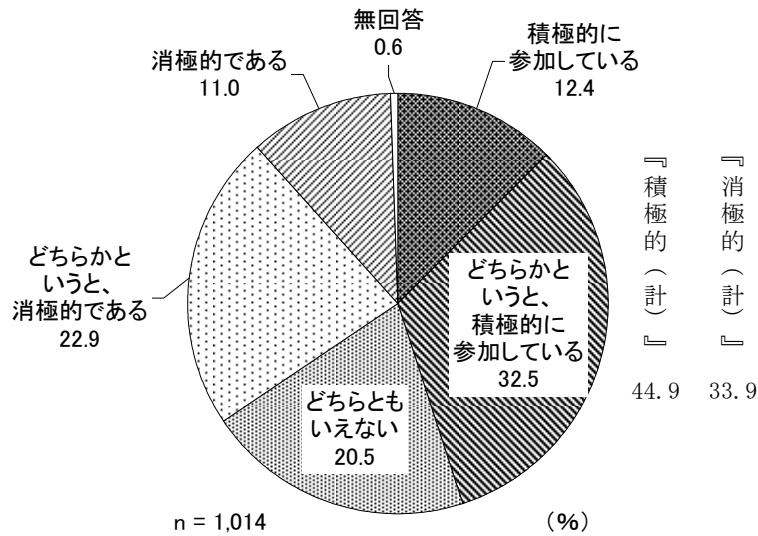
(13) 地域活動への参加

◇「積極的に参加している」と「どちらかという、積極的に参加している」を合わせた『積極的(計)』が4割半ばで、男女とも年齢が高くなるほど割合が高い

(問6で、「加入している」と答えた方に)

問6-1 自治会や町内会などの地域活動にどの程度参加をしていますか。次の中から1つ選んでください。

図1-13-1



自治会・町内会への加入で「加入している」と答えた人(1,014人)に、地域活動への参加について聞いたところ、「どちらかという、積極的に参加している」(32.5%)が3割を超え最も高く、これに「積極的に参加している」(12.4%)を合わせた『積極的(計)』(44.9%)は4割半ばとなっている。一方、「消極的である」(11.0%)と「どちらかという、消極的である」(22.9%)を合わせた『消極的(計)』(33.9%)は3割を超えている。(図1-13-1)

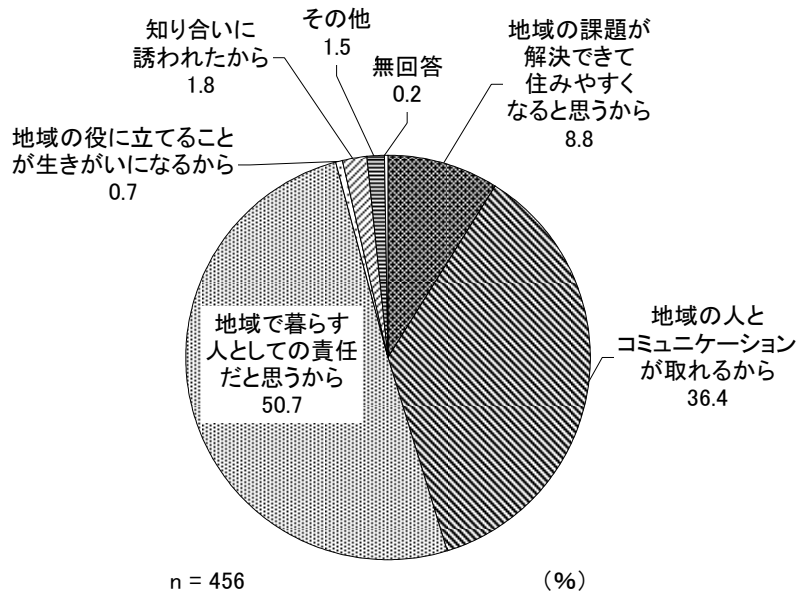
(14) 地域活動に参加する主な理由

◇「地域で暮らす人としての責任だと思ふから」と「地域の人とコミュニケーションが取れるから」を合わせると9割近く

(問6-1で、「積極的に参加している」「どちらかという、積極的に参加している」と答えた方に)

問6-2 参加する主な理由を1つ選んでください。

図1-14-1



地域活動への参加で「積極的に参加している」「どちらかという、積極的に参加している」と答えた人(456人)に、地域活動に参加する主な理由について聞いたところ、「地域で暮らす人としての責任だと思ふから」(50.7%)がほぼ5割で最も高く、次いで「地域の人とコミュニケーションが取れるから」(36.4%)、「地域の課題が解決できて住みやすくなると思うから」(8.8%)、「知り合いに誘われたから」(1.8%)、「地域の役に立てることが生きがいになるから」(0.7%)などの順となっている。(図1-14-1)

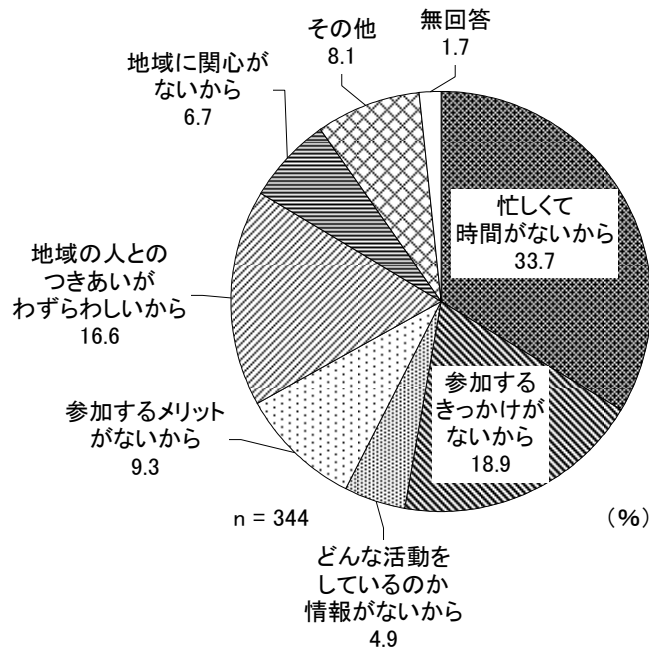
(15) 地域活動に消極的な理由

◇「忙しくて時間がないから」が3割を超える

(問6-1で、「消極的である」「どちらかという、消極的である」と答えた方に)

問6-3 地域活動の参加に対して消極的な理由を1つ選んでください。

図1-15-1



地域活動への参加で「消極的である」「どちらかという、消極的である」と答えた人(344人)に、消極的な理由について聞いたところ、「忙しくて時間がないから」(33.7%)が3割を超え最も高く、次いで「参加するきっかけがないから」(18.9%)、「地域の人とのつきあいがわずらわしいから」(16.6%)、「参加するメリットがないから」(9.3%)などの順となっている。(図1-15-1)

【満足度と重要度の算出方法】

各施策の満足度と重要度については、以下の方法で回答結果を整理し算出した。

①満足度と重要度の集計結果

施策ごとに満足度と重要度の集計結果を示している。満足度と重要度は以下に示す加重平均値を算出する方法で点数化した。

【満足度】

とても満足：2点、やや満足：1点、どちらともいえない：0点、やや不満：-1点、非常に不満：-2点とし、項目ごとの回答結果を（「とても満足」の件数×2点+「やや満足」の件数×1点+「どちらともいえない」の件数×0点+「やや不満」の件数×-1点+「非常に不満」の件数×-2点）÷（回答者件数 - 無回答件数）として算出。

【重要度】

とても重要：2点、やや重要：1点、どちらともいえない：0点、あまり重要ではない：-1点、重要ではない：-2点とし、項目ごとの回答結果を（「とても重要」の件数×2点+「やや重要」の件数×1点+「どちらともいえない」の件数×0点+「あまり重要ではない」の件数×-1点+「重要ではない」の件数×-2点）÷（回答者件数 - 無回答件数）として算出。

②満足度と重要度の相関図による分析

満足度と重要度それぞれの加重平均値をもとに、横軸に満足度、縦軸に重要度を設定し、41の施策を散布図上に示したものが相関図である。

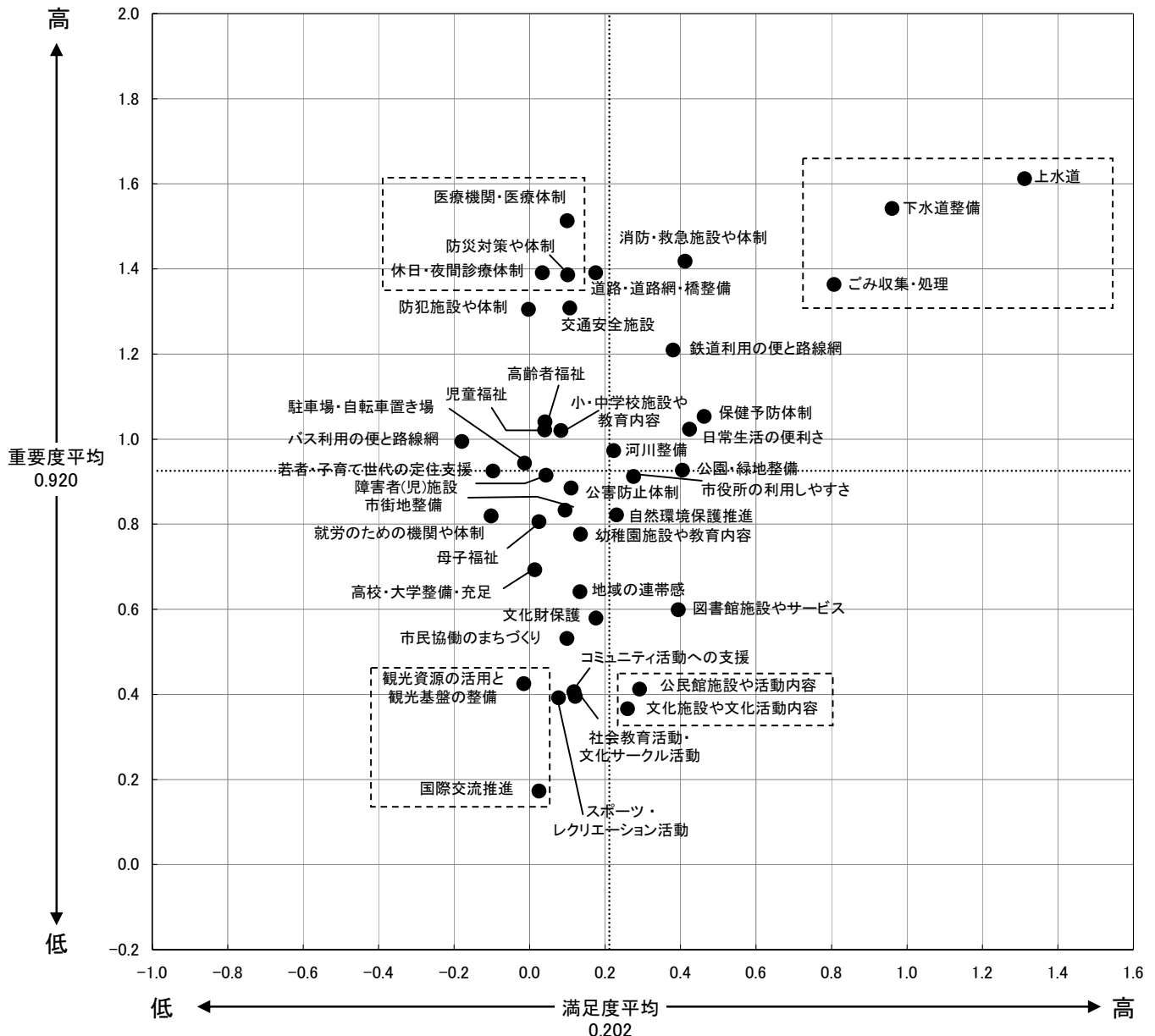
生活環境の満足度と重要度(全体)

満足度、重要度がともに高い項目は、「上水道」、「下水道整備」、「ごみ収集・処理」など、満足度が低く重要度が高い項目は「医療機関・医療体制」、「休日・夜間診療体制」、「防災対策や体制」などとなっている。満足度、重要度がともに低い項目は「国際交流推進」、「観光資源の活用と観光基盤の整備」など、満足度が高く重要度が低い項目は「文化施設や文化活動内容」、「公民館施設や活動内容」などとなっている。

前回調査と比較すると、満足度の平均値は0.166から0.202へと上昇している。

41項目の順位では、「道路・道路網・橋整備」、「市街地整備」、「コミュニティ活動への支援」などの順位が上がる一方、「観光資源の活用と観光基盤の整備」、「自然環境保護推進」、「医療機関・医療体制」などの順位が下がっている。(図2-1-1、表2-1-1)

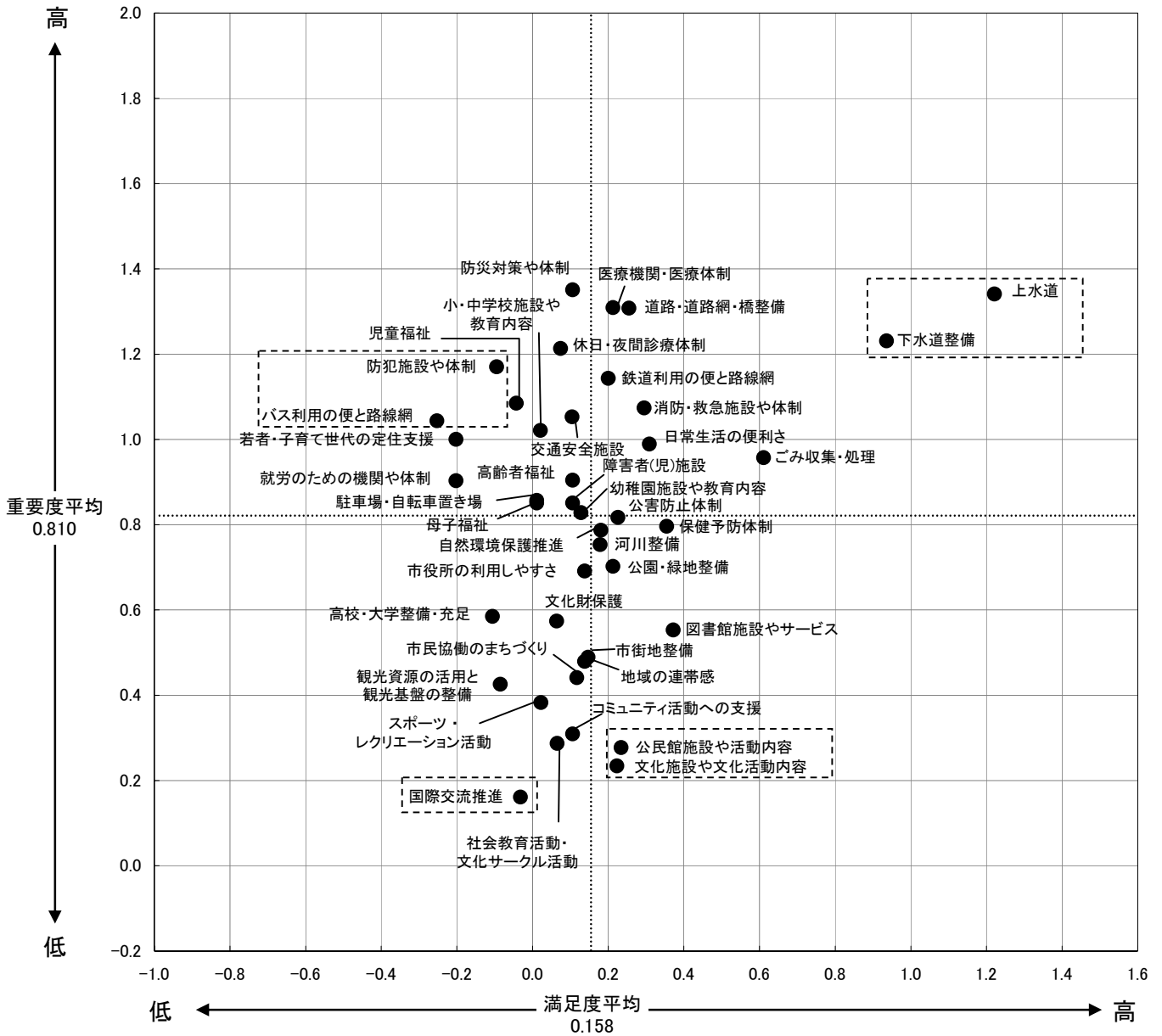
図2-1-1 生活環境の満足度と重要度(全体)



生活環境の満足度と重要度 (20代)

20代の満足度、重要度がともに高い項目は「上水道」、「下水道整備」など、満足度が低く重要度が高い項目は「防犯施設や体制」、「バス利用の便と路線網」などとなっている。満足度、重要度がともに低い項目は「国際交流推進」など、満足度が高く重要度が低い項目は「文化施設や文化活動内容」、「公民館施設や活動内容」などとなっている。(図2-1-8、表2-1-8)

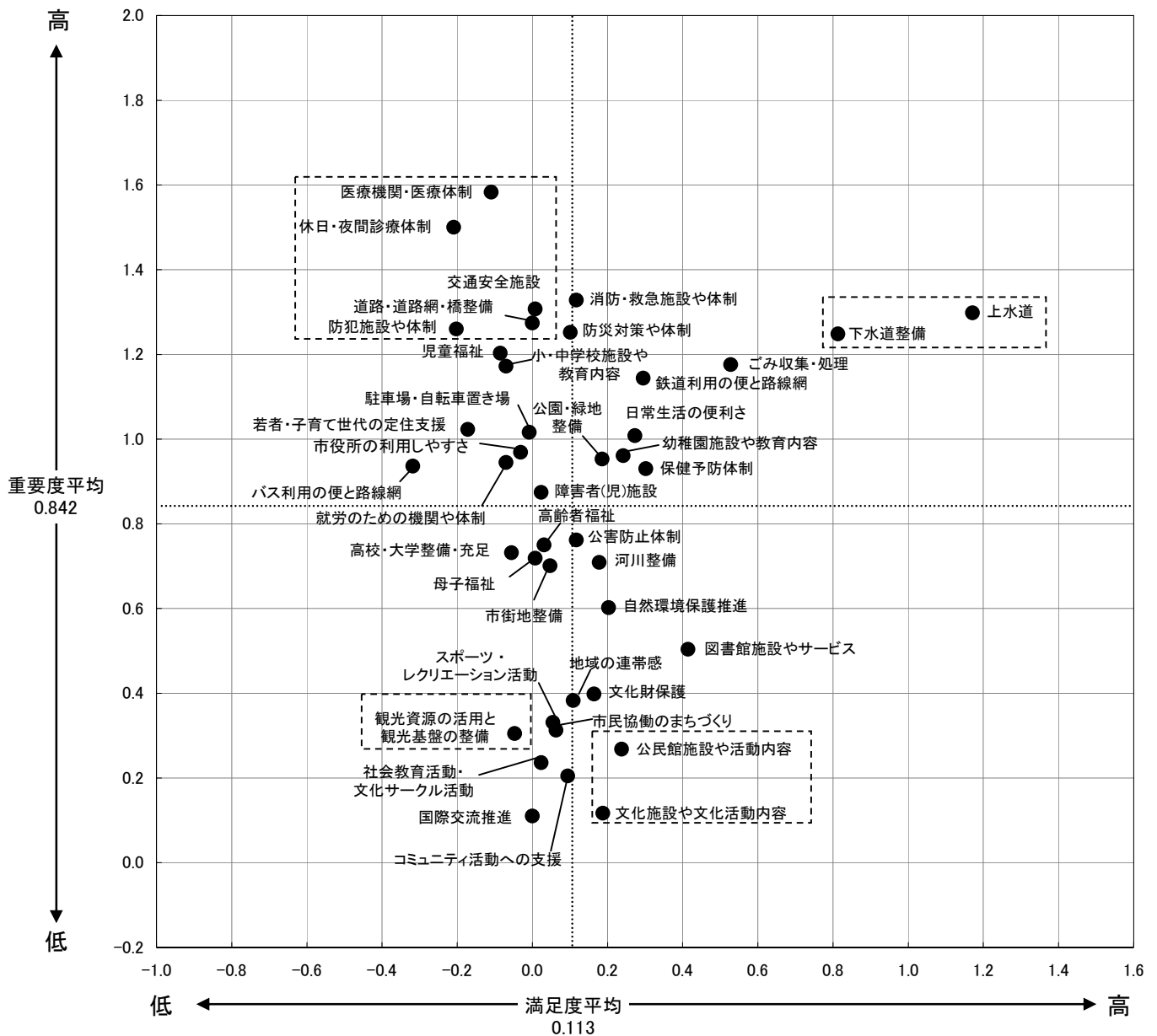
図2-1-8 生活環境の満足度と重要度 (20代)



生活環境の満足度と重要度 (30代)

30代の満足度、重要度がともに高い項目は「上水道」、「下水道整備」など、満足度が低く重要度が高い項目は「医療機関・医療体制」、「休日・夜間診療体制」、「交通安全施設」、「道路・道路網・橋整備」、「防犯施設や体制」などとなっている。満足度、重要度がともに低い項目は「観光資源の活用と観光基盤の整備」など、満足度が高く重要度が低い項目は「文化施設や文化活動内容」、「公民館施設や活動内容」などとなっている。(図2-1-9、表2-1-9)

図2-1-9 生活環境の満足度と重要度 (30代)

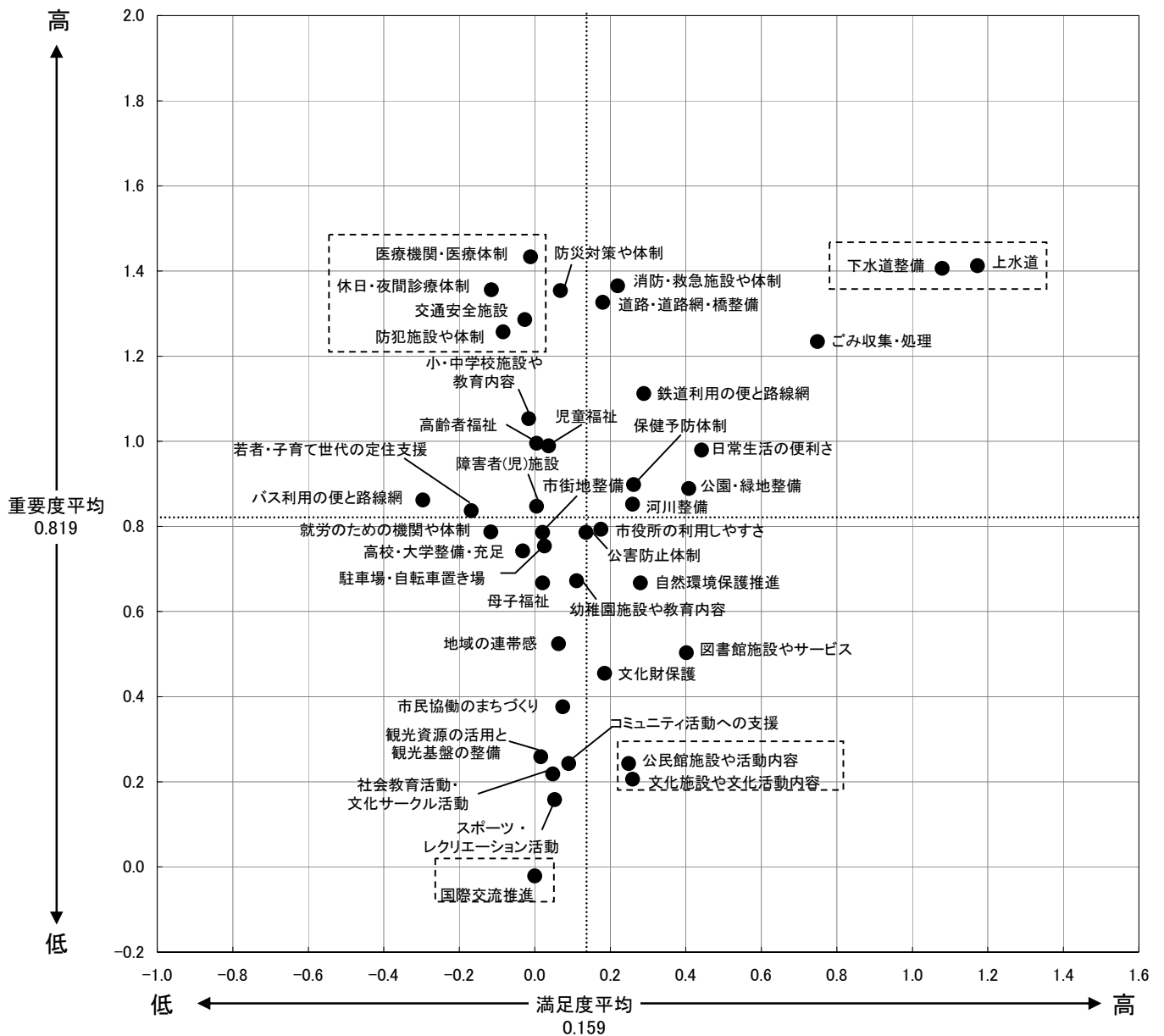


生活環境の満足度と重要度 (40代)

40代の満足度、重要度がともに高い項目は「上水道」、「下水道整備」など、満足度が低く重要度が高い項目は「医療機関・医療体制」、「休日・夜間診療体制」、「交通安全施設」、「防犯施設や体制」などとなっている。満足度、重要度がともに低い項目は「国際交流推進」など、満足度が高く重要度が低い項目は「文化施設や文化活動内容」、「公民館施設や活動内容」などとなっている。

(図2-1-10、表2-1-10)

図2-1-10 生活環境の満足度と重要度 (40代)

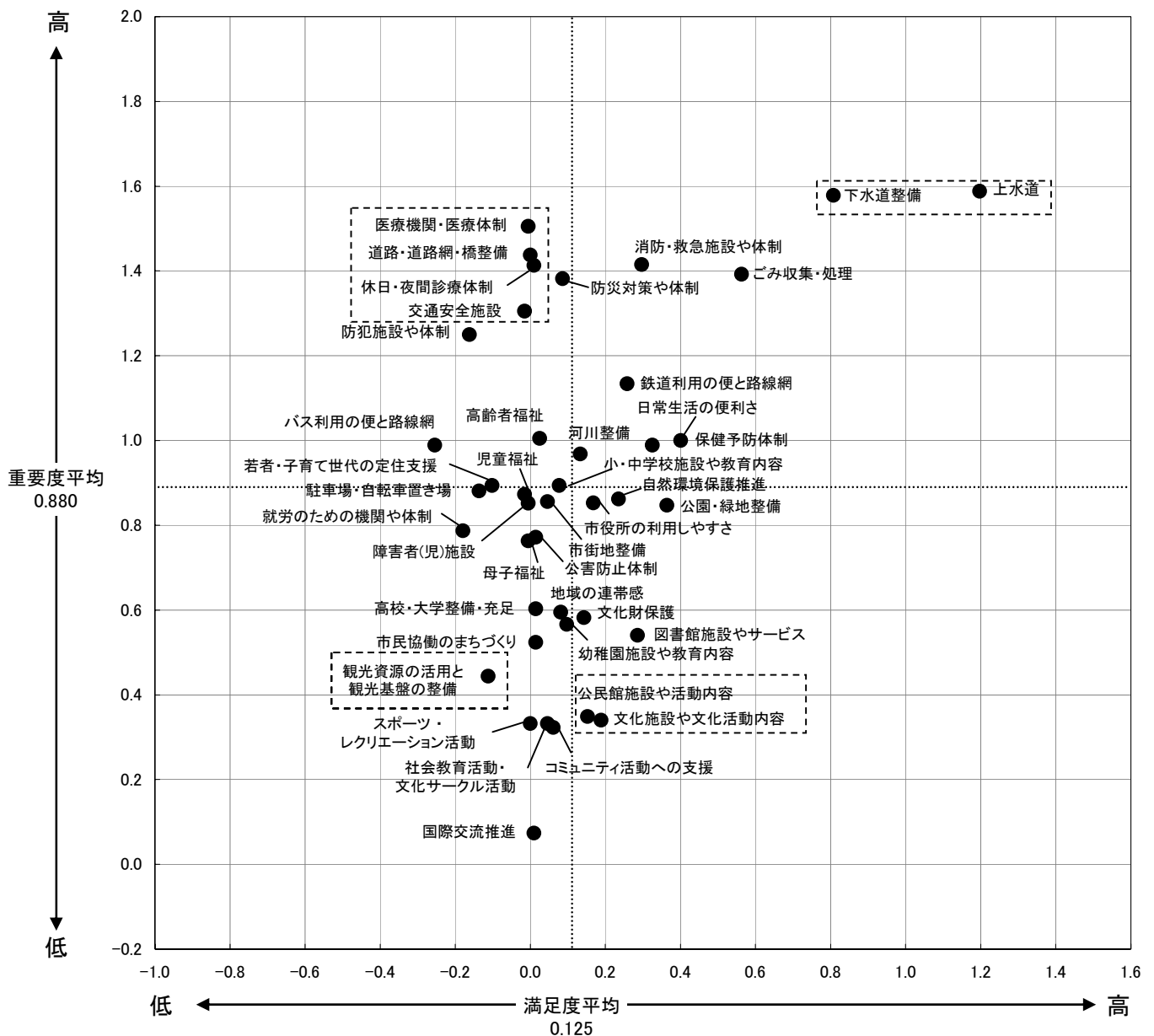


生活環境の満足度と重要度 (50代)

50代の満足度、重要度がともに高い項目は「上水道」、「下水道整備」など、満足度が低く重要度が高い項目は「医療機関・医療体制」、「道路・道路網・橋整備」、「休日・夜間診療体制」、「交通安全施設」などとなっている。満足度、重要度がともに低い項目は「観光資源の活用と観光基盤の整備」など、満足度が高く重要度が低い項目は「文化施設や文化活動内容」、「公民館施設や活動内容」などとなっている。

(図2-1-11、表2-1-11)

図2-1-11 生活環境の満足度と重要度 (50代)

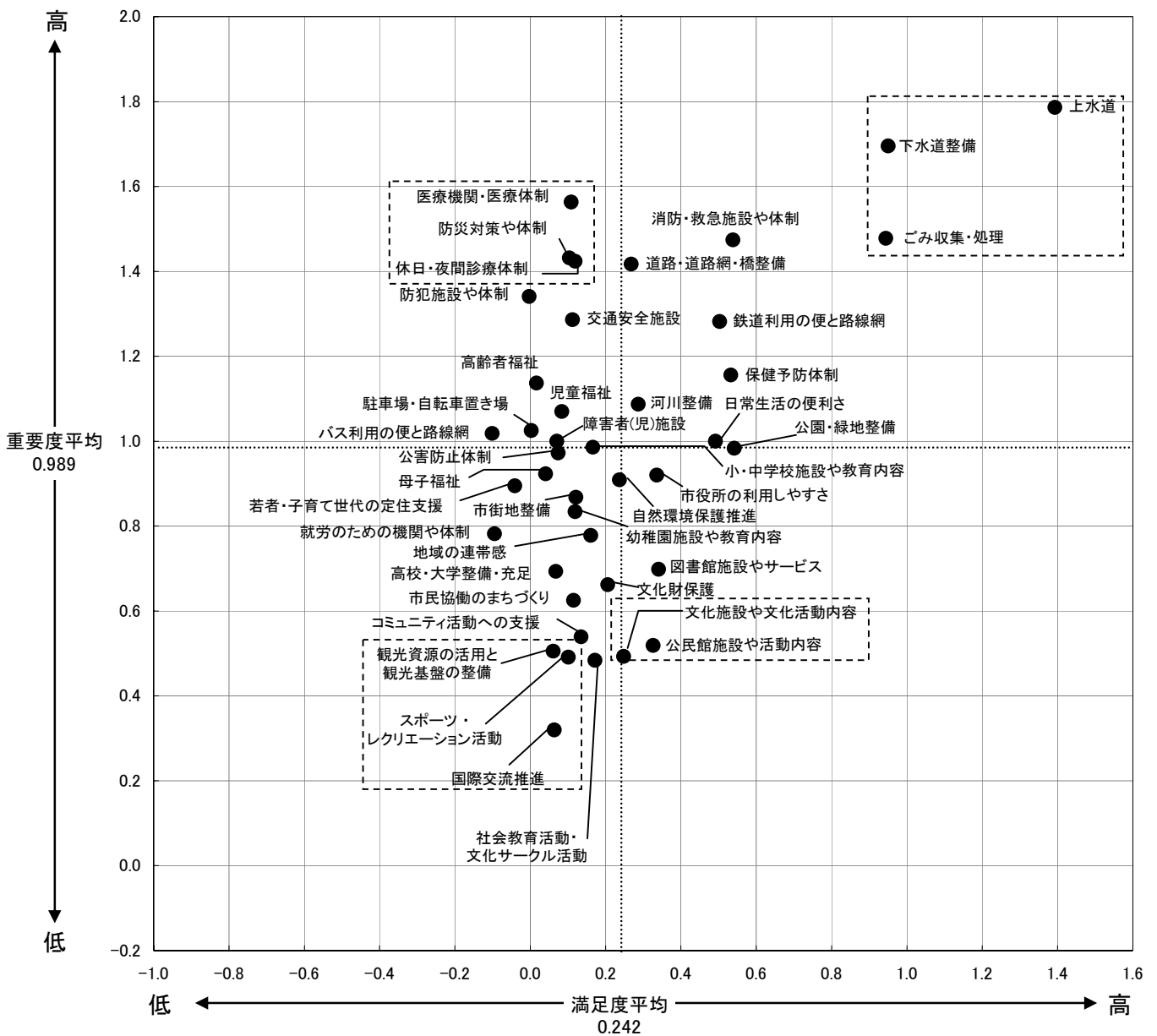


生活環境の満足度と重要度 (60代)

60代の満足度、重要度がともに高い項目は「上水道」、「下水道整備」、「ごみ収集・処理」など、満足度が低く重要度が高い項目は「医療機関・医療体制」、「防災対策や体制」、「休日・夜間診療体制」などとなっている。満足度、重要度がともに低い項目は「国際交流推進」、「スポーツ・レクリエーション活動」、「観光資源の活用と観光基盤の整備」など、満足度が高く重要度が低い項目は「文化施設や文化活動内容」、「公民館施設や活動内容」などとなっている。

(図2-1-12、表2-1-12)

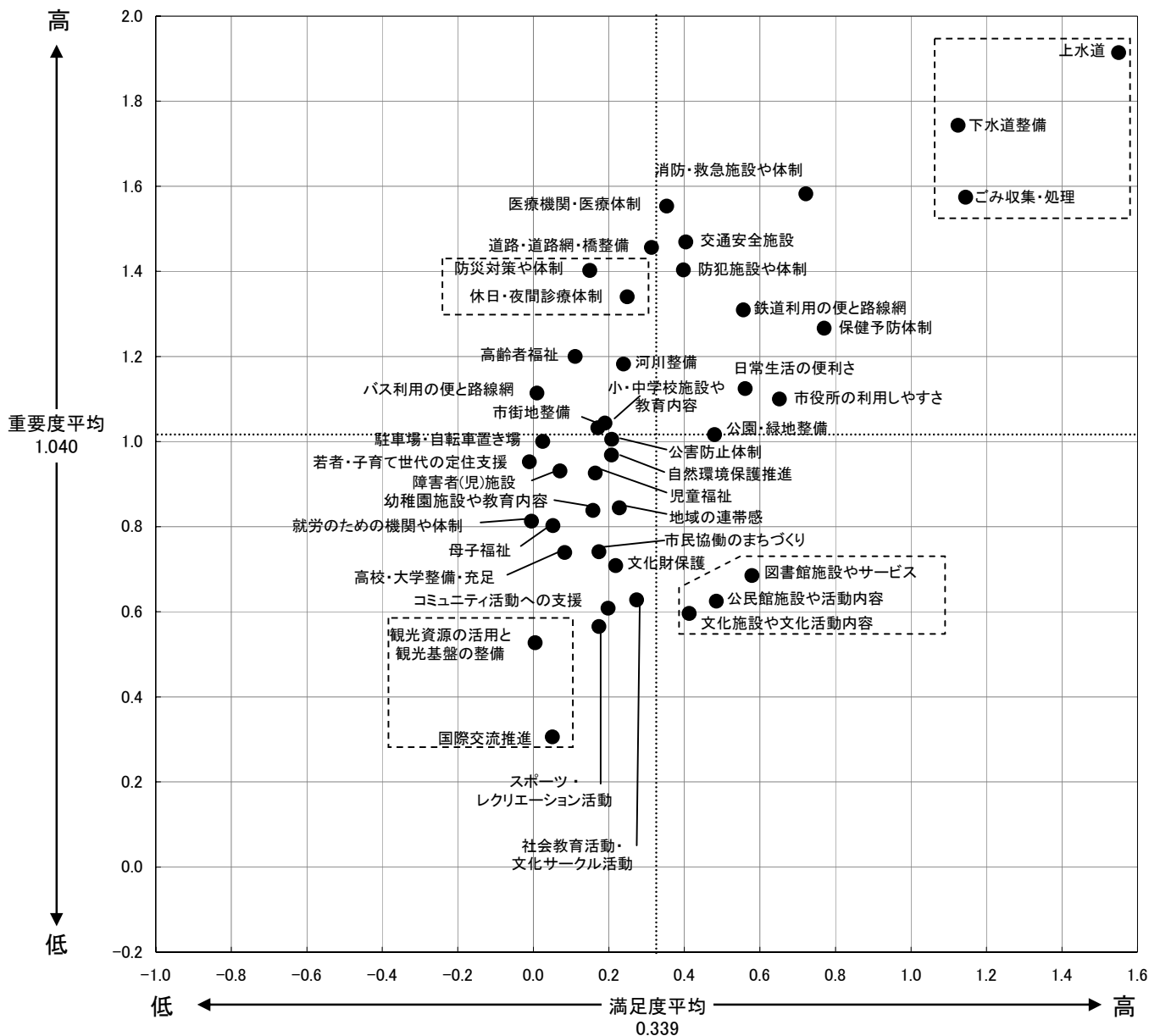
図2-1-12 生活環境の満足度と重要度 (60代)



生活環境の満足度と重要度 (70歳以上)

70歳以上の満足度、重要度がともに高い項目は「上水道」、「下水道整備」、「ごみ収集・処理」など、満足度が低く重要度が高い項目は「防災対策や体制」、「休日・夜間診療体制」などとなっている。満足度、重要度がともに低い項目は「国際交流推進」、「観光資源の活用と観光基盤の整備」など、満足度が高く重要度が低い項目は「文化施設や文化活動内容」、「公民館施設や活動内容」、「図書館施設やサービス」などとなっている。

図2-1-13 生活環境の満足度と重要度 (70歳以上)

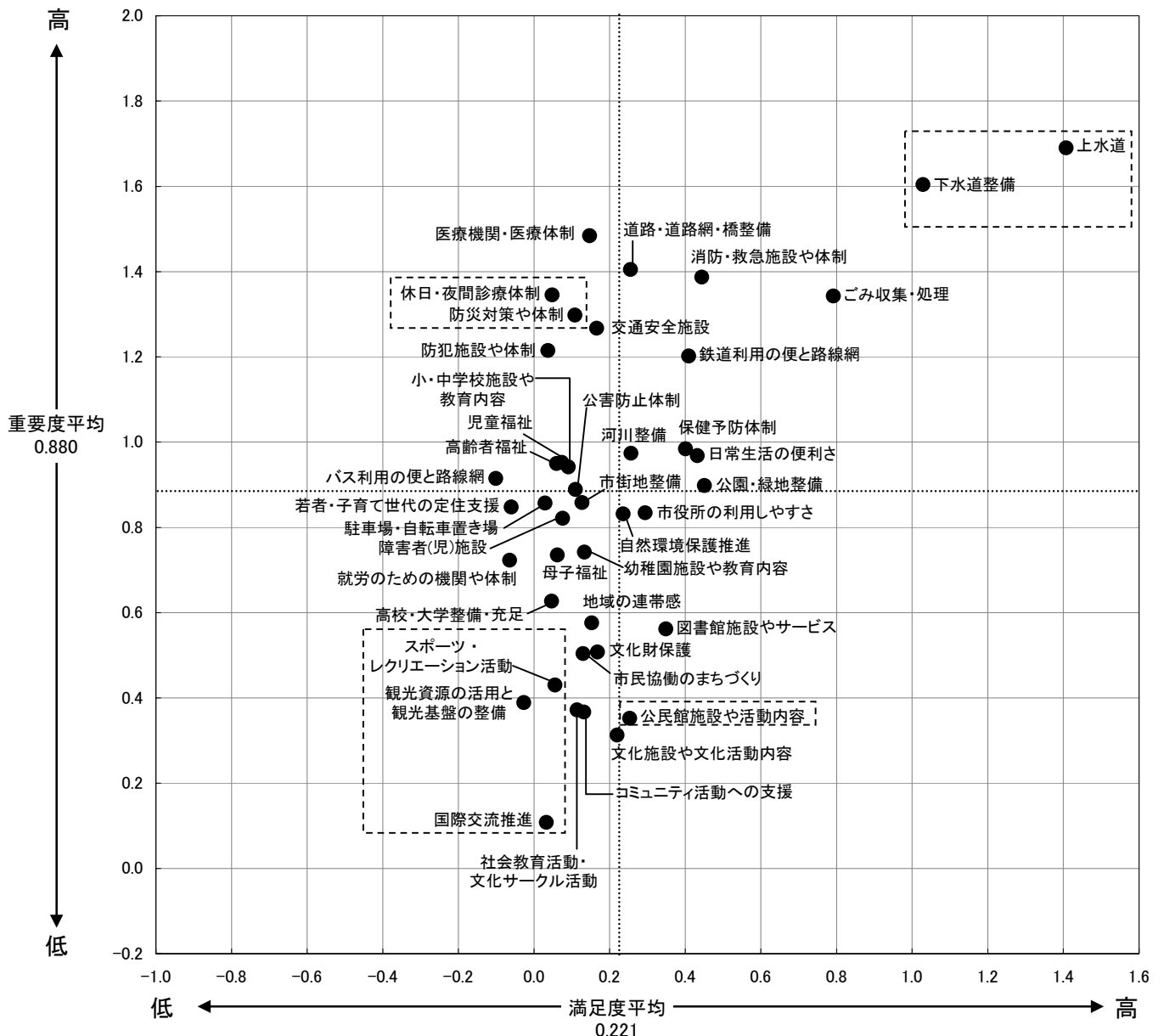


生活環境の満足度と重要度(男性)

男性の満足度、重要度がともに高い項目は「上水道」、「下水道整備」など、満足度が低く重要度が高い項目は「休日・夜間診療体制」、「防災対策や体制」などとなっている。満足度、重要度がともに低い項目は「国際交流推進」、「観光資源の活用と観光基盤の整備」、「スポーツ・レクリエーション活動」など、満足度が高く重要度が低い項目は「公民館施設や活動内容」などとなっている。

(図2-1-14、表2-1-14)

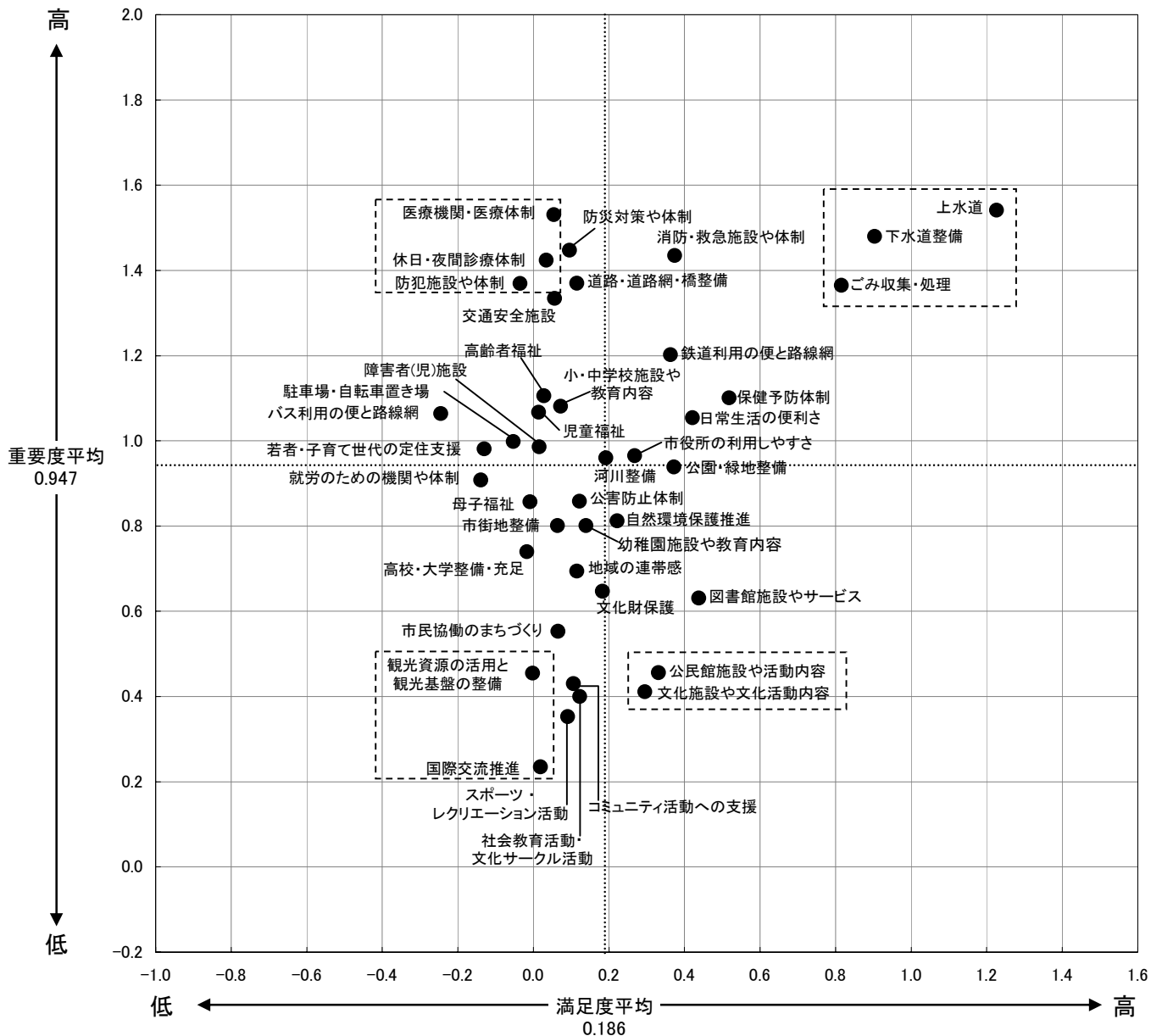
図2-1-14 生活環境の満足度と重要度(男性)



生活環境の満足度と重要度(女性)

女性の満足度、重要度がともに高い項目は「上水道」、「下水道整備」、「ごみ収集・処理」など、満足度が低く重要度が高い項目は「医療機関・医療体制」、「休日・夜間診療体制」、「防災施設や体制」などとなっている。満足度、重要度がともに低い項目は「国際交流推進」、「観光資源の活用と観光基盤の整備」など、満足度が高く重要度が低い項目は「文化施設や文化活動内容」、「公民館施設や活動内容」などとなっている。

図2-1-15 生活環境の満足度と重要度(女性)



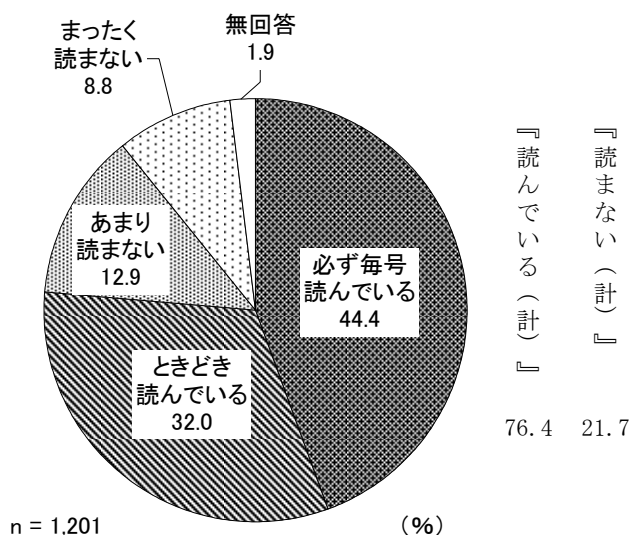
6. 「広報いるま」や市政情報について

(1) 「広報いるま」について

◇「必ず毎号読んでいる」が4割半ば

問 15 市では「広報いるま」を原則月2回、年22回発行していますが、あなたはどの程度読んでいますか。次の中から1つ選んでください。

図6-1-1



「広報いるま」について聞いたところ、「必ず毎号読んでいる」(44.4%)が4割半ばで最も高く、これに「ときどき読んでいる」(32.0%)を合わせた『読んでいる(計)』(76.4%)は7割半ばとなっている。一方、「まったく読まない」(8.8%)と「あまり読まない」(12.9%)を合わせた『読まない(計)』(21.7%)は2割を超えている。(図6-1-1)

性別にみると、『読んでいる(計)』は女性(80.4%)が男性(71.8%)より8.6ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、『読んでいる(計)』は男女ともにおおむね年代が高くなるほど割合が高く、男性70歳以上(91.9%)と女性70歳以上(90.2%)で9割台となっている。一方、『読まない(計)』は男性20代(77.5%)で8割近くと高くなっている。(図6-1-2)

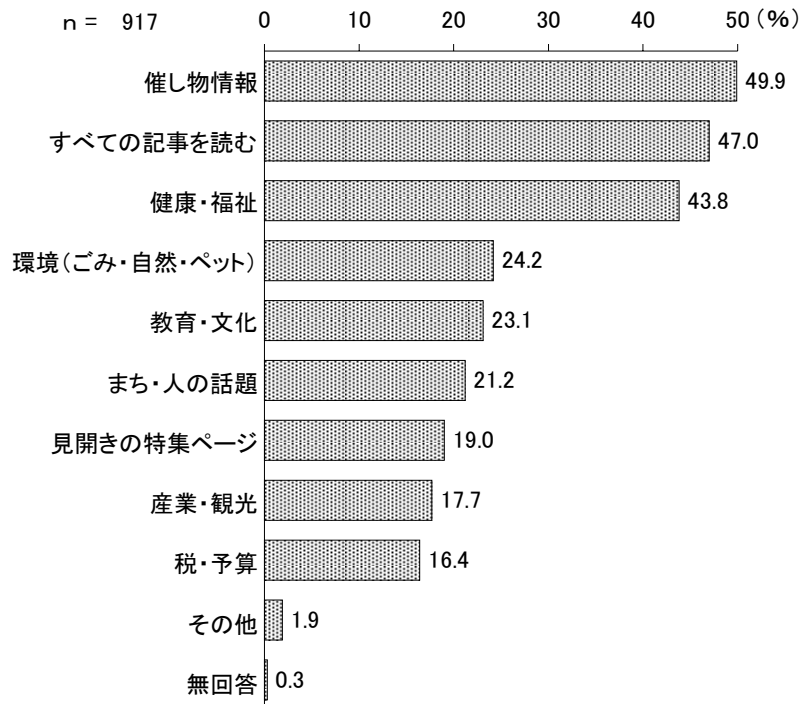
(2) 関心を持って読んでいる内容

◇「催し物情報」が5割

(問 15 で、「必ず毎号読んでいる」「ときどき読んでいる」と答えた方に)

問 15-1 それでは、どのような内容に関心を持って読まれますか。次の中からいくつでも選んでください。

図 6-2-1



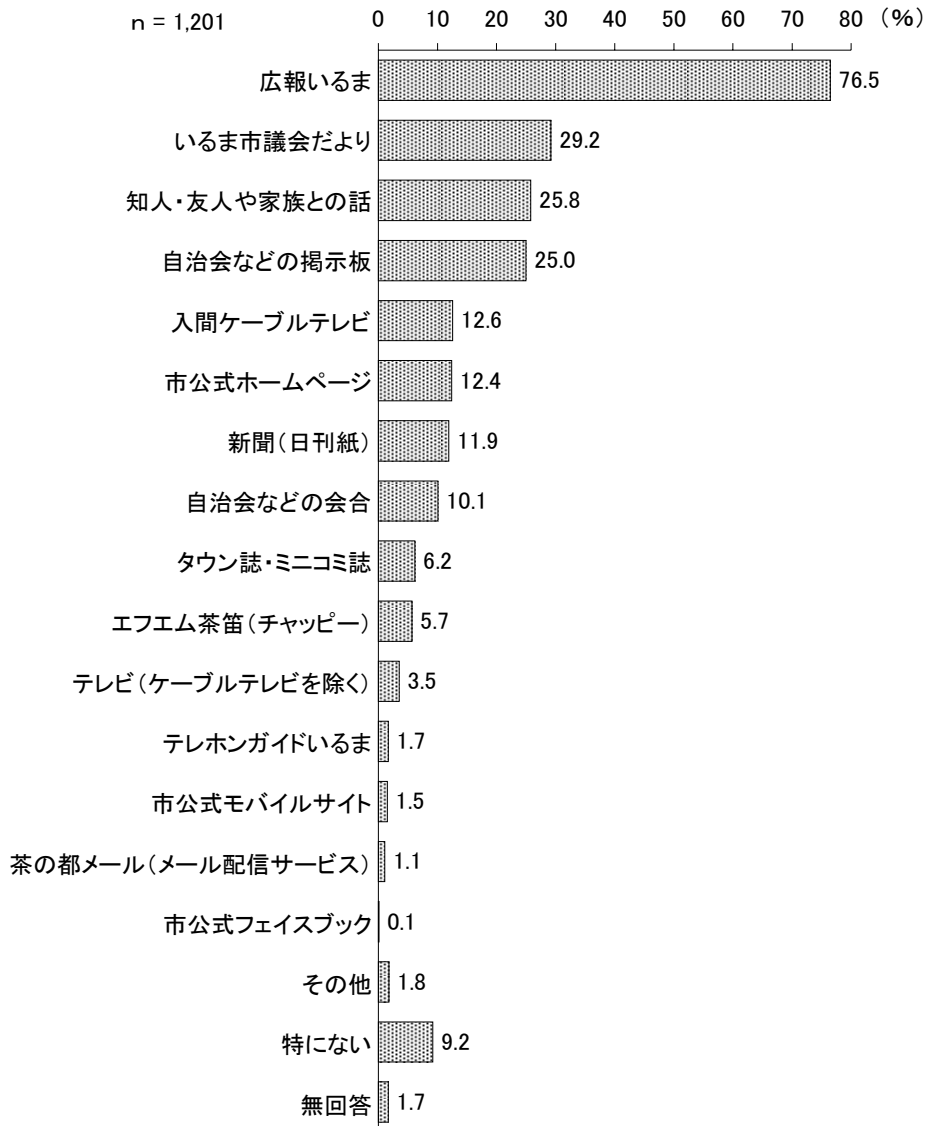
「広報いるま」について「必ず毎号読んでいる」「ときどき読んでいる」と答えた人(917人)に、関心を持って読んでいる内容について聞いたところ、「催し物情報」(49.9%)が5割で最も高く、次いで「すべての記事を読む」(47.0%)、「健康・福祉」(43.8%)、「環境(ごみ・自然・ペット)」(24.2%)などの順となっている。(図6-2-1)

(13) 入間市の情報入手先

◇「広報いるま」が8割近く

問 21 あなたは、入間市政の動きや市の仕事・行事などについて、主に何から情報を得ていますか。次の中から4つまで選んでください。

図 6-13-1



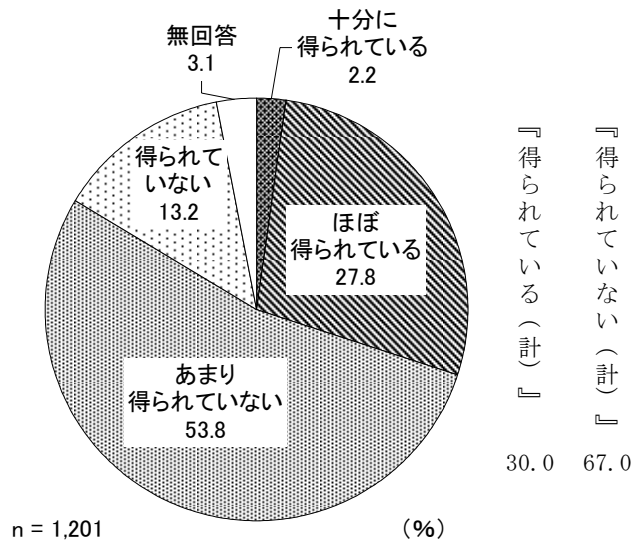
入間市の情報入手先について聞いたところ、「広報いるま」(76.5%)が8割近くで最も高く、次いで「いるま市議会だより」(29.2%)、「知人・友人や家族との話」(25.8%)、「自治会などの掲示板」(25.0%)などの順となっている。(図 6-13-1)

(14) 市政に関する情報について

◇「十分に得られている」と「ほぼ得られている」を合わせた『得られている(計)』が3割

問 22 あなたは、市政に関する情報を十分得られていると思いますか。次の中から1つ選んでください。

図 6-14-1



市政に関する情報について聞いたところ、「十分に得られている」(2.2%)と「ほぼ得られている」(27.8%)を合わせた『得られている(計)』(30.0%)は3割となっている。一方、「得られていない」(13.2%)と「あまり得られていない」(53.8%)を合わせた『得られていない(計)』(67.0%)は7割近くとなっている。(図 6-14-1)

性別にみると、『得られている(計)』は男性(35.5%)が女性(25.9%)より9.6ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、『得られている(計)』は男性では年代が高くなるほど割合が高く、男性70歳以上(47.2%)で5割近くとなっている。一方、『得られていない(計)』は男女ともにおおむね年代が低くなるほど割合が高く、女性20代(92.7%)と男性20代(92.5%)で9割を超えている。(図 6-14-2)

入間市周辺交通関係データ

1. 西武池袋線各駅別乗降人員(一日平均及び前年比(%))の推移

| | 平成22年度 | | 平成23年度 | | 平成24年度 | | 平成25年度 | | 平成26年度 | |
|-------|--------|------|--------|------|--------|------|--------|------|--------|------|
| 武蔵藤沢 | 22,690 | -1.6 | 22,412 | -1.2 | 22,837 | 1.9 | 23,599 | 3.3 | 23,583 | -0.1 |
| 稲荷山公園 | 8,457 | -0.1 | 8,396 | -0.7 | 8,502 | 1.3 | 8,780 | 3.3 | 8,975 | 2.2 |
| 入間市 | 35,706 | -1.7 | 34,580 | -3.2 | 35,241 | 1.9 | 35,881 | 1.8 | 35,042 | -2.3 |
| 仏子 | 13,283 | -5.4 | 12,917 | -2.8 | 12,537 | -2.9 | 12,221 | -2.5 | 12,193 | -0.2 |
| 元加治 | 6,784 | -2.4 | 6,890 | 1.6 | 6,940 | 0.7 | 6,974 | 0.5 | 6,828 | -2.1 |

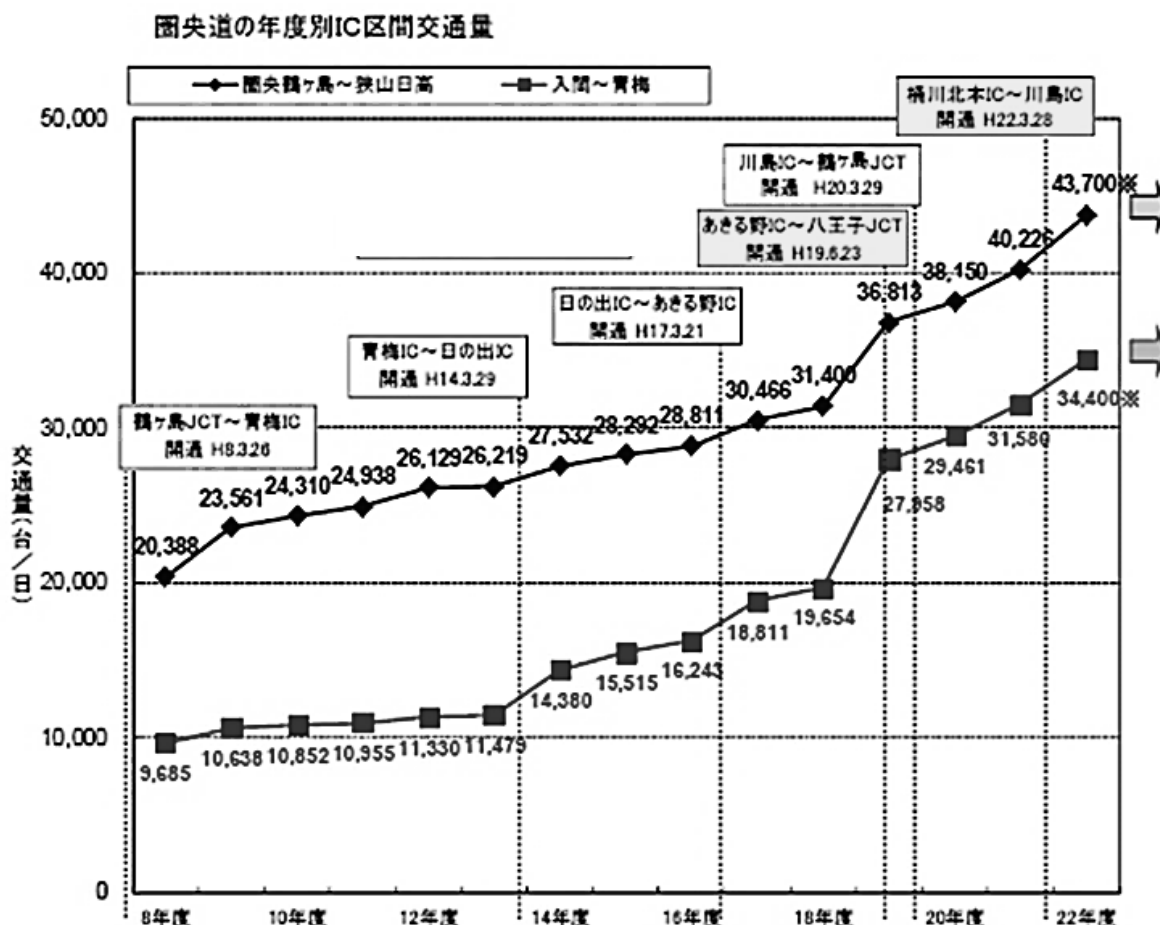
西武鉄道資料より

2. JR東日本八高線金子駅乗車人員(一日平均及び前年比(%))の推移

| 平成22年度 | | 平成23年度 | | 平成24年度 | | 平成25年度 | | 平成26年度 | |
|--------|-----|--------|------|--------|-----|--------|------|--------|------|
| 2,121 | 0.0 | 2,098 | -1.1 | 2,110 | 0.6 | 2,097 | -0.6 | 2,037 | -2.9 |

JR東日本資料より

3. 入間市周辺における圏央道通行量の推移(主として開通時から5年間)



NEXCO 東日本資料より

入間市シティセールス戦略会議要綱

(設置)

第1条 シティセールス戦略を検討するに当たり、多方面からの意見を聴取するため、入間市シティセールス戦略会議（以下「戦略会議」という。）を置く。

(定義)

第2条 この要綱において「シティセールス戦略」とは、入間市の魅力を戦略的かつ効果的に市内外にアピールすることにより、市民の郷土愛を育み、及び人や企業への入間市の認知度を高め、もって観光客、居住者、企業等の誘致及び定着を図り、入間市の活力を創造していくための方策をいう。

(所掌事務)

第3条 戦略会議は、シティセールス戦略について、検討及び意見交換を行うものとする。

(組織)

第4条 戦略会議は、委員7人以内をもって組織し、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 知識経験者
- (2) 観光、交通、産業等の事業を営む者
- (3) 市内に在住し、在勤し、又は在学する者

(任期)

第5条 委員の任期は、委嘱された日から市がシティセールス戦略を策定した日までとする。

(委員長及び副委員長)

第6条 戦略会議に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により定める。

- 2 委員長は、会務を総理し、戦略会議を代表する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第7条 戦略会議は、委員長が招集し、委員長が会議の議長となる。

- 2 戦略会議は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

(関係者の出席)

第8条 戦略会議は、必要と認めるときは、会議に関係者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(報償金)

第9条 市長は、予算の範囲内において、委員に報償金を支給するものとする。

(庶務)

第10条 戦略会議の庶務は、環境経済部商工課において処理する。

(雑則)

第11条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附 則

- 1 この告示は、平成27年2月26日から施行する。
- 2 この告示は、市がシティセールス戦略を策定した日に、その効力を失う。

入間市シティセールス戦略会議検討経過(開催概要)

平成 26 年度

2月26日 第1回会議 テーマ：委員委嘱と今後の進め方について

会場：市庁舎C棟5階 502会議室

主な内容

- ・委嘱状交付
- ・委員紹介
- ・シティセールス戦略について
- ・今後の進め方について

3月16日 第2回会議 テーマ：シティセールス戦略検討にあたっての課題抽出

会場：市庁舎C棟4階 入札室

主な内容

- ・シティセールス戦略について

平成 27 年度

5月22日 第3回会議 テーマ：抽出された課題の詳細検討と仮説の設定

会場：入間市博物館 会議室

主な内容

- ・シティセールス戦略について（入間市の魅力・優位性について）

7月24日 第4回会議 テーマ：仮説と現状とのギャップの確認作業

会場：入間市農村環境改善センター 洋会議室

主な内容

- ・シティセールス戦略について
（戦略の枠組みについて、これまでのまとめについて）

9月4日 第5回会議 テーマ：シティセールス戦略原案（概要）及びキャッチフレーズ等の検討

会場：市庁舎A棟3階 市長公室

主な内容

- ・戦略プランについて（コンセプトシートについて）

10月16日 第6回会議 テーマ：シティセールス戦略原案（素案）

会場：入間市産業文化センターA棟2階 第二集会室B

主な内容

- ・コンセプトシートについて

12月24日 第7回会議 テーマ：シティセールス原案（素案）報告（庁内協議へ）

会場：市庁舎B棟5階 全員協議会室

主な内容

- ・戦略の素案について

3月 4日 第8回会議 テーマ：シティセールス戦略（案）について

会場：入間市市民会館3階 4号室

主な内容：パブリックコメントについて

関連事業

平成28年 1月4日から同年2月2日

入間市シティセールス戦略プラン(案)についてパブリックコメント

平成28年 1月30日

まちの魅力づくりシンポジウム「味わい深いまちを目指して」

会場:入間市産業文化センターホール

主な内容

- ・基調講演
- ・入間市シティセールス戦略プラン(案)説明
- ・パネルディスカッション

入間市シティセールス戦略会議委員名簿(敬称略)

| 氏名 | 委員分類 | 所属 | 役職 |
|---------------------------------|-----------------------------|--------------------------|------|
| 関山 祐介 | 学識経験者 | 国際資格認定 経営コンサルタント | 副委員長 |
| 相本 大地 | | 株式会社 J T B 関東 | |
| 小川 大策※ 寶迫 直樹 (※人事異動により交代) | 観光関連企業の関係者、個人事業主または市民団体の関係者 | 西武鉄道株式会社 | |
| 小林 昌幸 | | 入間第一ホテル 入間市商工会理事他 | 委員長 |
| 西澤 正夫 | | わんぱく相撲推進会議 入間市観光協会理事他 | |
| 高橋 進 | 公募による委員 | | |
| 椎葉 京子 | | | |

入間市シティセールス戦略プラン
平成28年3月発行

発行 埼玉県入間市
環境経済部商工課

〒358-8511 入間市豊岡1丁目16番1号

電話 04-2964-1111 (代表)

FAX 04-2965-0232

ホームページ <http://www.city.iruma.saitama.jp/>